会 議 録

会 議 名	令和6年度第3回野田市コミュニティバス等対策審議会
議題及び議題ごとの公開又は非公開の別	(1) まめバスルート図・時刻表について(報告) (2) まめバスの利用促進策について(報告) (3) 交通不便地域対策について(報告)
日 時	令和6年9月27日(金) 午後1時30分から午後2時30分まで
場 所	市役所低層棟4階 委員会室
出席者氏名	<p>【委員】</p> <p>会 長 寺部 慎太郎 副会長 小林 幸男 本田 正則、小俣 文宣、須賀田 貞彦、染谷 則夫、小出 稔之、 澤田 岳典、大塚 雅広</p> <p>【事務局】</p> <p>金田 昌丈(企画財政部長)、 中村 正則(企画財政部次長(兼)企画調整課長)、 池田 文彦(主幹(兼)企画調整課長補佐)、 中里 優也(企画調整課企画調整係主事)、 戸邊 卓哉(PR推進室長)、岡田 勇貴(障がい者支援課長)、 山口 忠司(高齢者支援課長)</p>
欠席委員氏名	有賀 ヒメ子
傍 聴 者	2名
議 事	令和6年度第3回野田市コミュニティバス等対策審議会の会議結果(概要)は、次のとおりである。
<p>1 開会</p> <p>企画調整課長 開会を宣言する。</p> <p>企画調整課長 本日の会議は、委員数10名のところ9名が出席し、委員の半数以上が出席しているので、野田市コミュニティバス等対策審議会条例第6条第2項により、成立していることを</p>	

報告する。会議の公開について、個人情報等の不開示情報を取り扱うことがないため原則、公開とすることを報告する。

企画調整課長 傍聴希望者が2名おり、傍聴を許可していることを報告する。

2 委員の委嘱

寺部会長 委員の委嘱について、事務局から報告をお願いする。

事務局 前任の辞任に伴い、新たに1名の委員が委嘱されたことを報告する。

3 議事

議題（1） まめバスルート図・時刻表について（報告）

寺部会長 「まめバスルート図・時刻表について」事務局に報告をお願いする。

<事務局報告>

- ・資料①のルート図・時刻表については、冊子タイプから4つの地域ごとに作成する折り畳み式のリーフレットタイプへ変更し、全戸配布は行わずに、9月20日から市役所やまめバス車内等に配架したこと。
- ・前回の会議で頂いた意見をもとに、「ルート図・時刻表」のレイアウト、文字の色合い、余白スペースのバランスなどについて、より見やすいものとなるよう、印刷業者と調整したため、整理した主な内容を報告すること。
- ・「ルート図」と「時刻表」の表示について、大きな文字で見やすく利用しやすいものとするため、可能な限り拡大したこと。
- ・回数券販売所については、販売所名のみ表示では所在がわからないという意見を頂いたが、スペース的に住所は入れられなかったため、電話番号を記載したこと。
- ・バスロケーションシステムについてのお知らせを、目につきやすくするため、ルート図の枠内に掲載したこと。
- ・資料②1ページの「ルート図・時刻表の配布」について、地区別の対象ルートは資料のとおりとなり、配布場所については、これまで配架していた、市役所、関宿支所、各出張所に加えて、体育館、市内各駅、まめバス車内にも配架するほか、利用が見込める病院や商業施設などにも協力いただき配架すること。
- ・2ページの「ポケット時刻表の配布」については、これまでと同様に、引き続き、公共施設、

駅、病院などの主要なバス停の時刻表をポケットサイズにまとめたものを作成し、各場所に配架していくこと。

- ・3ページの「バス停ルート図・時刻表の掲示」について、実際のバス停にあるルート図・時刻表は、資料のイメージ図のものとなり、バス停と同様のルート図・時刻表を、多くの利用が見込める商業施設などで掲示していただき、運行開始後も掲示が可能な場所があれば、順次、掲示をお願いしていくこと。

【質問】

寺部会長 ポケット時刻表の紙の材質はどうなっているか。

事務局 普通の印刷用紙となっている。

寺部会長 ポケット時刻表を拡大したものを病院等に掲示しているか。

事務局 バス停に掲示しているのと同じものを掲示する予定である。

寺部会長 駅への掲示はどうか。

事務局 掲示は難しいとの回答をもらっている。

小俣委員 愛宕駅東口の工事が終了したらまめバスは東口に乗り入れるのか。

事務局 乗り入れることを検討している。

寺部会長 乗り入れた場合、時刻はどうなるか。

事務局 工事の完成時期は読めないが、乗り入れることになった場合にはダイヤ改正をする必要がある。

企画財政部長 東口の駅前広場は暫定の駅前広場であり、来年から工事が始まる予定であるため、ダイヤ改正の時期は次の3年後の改正と同じ時期になる可能性がある。

大塚委員 ルート図・時刻表の配布場所について、野田市には倉庫が多いが、倉庫を運営している会社に、倉庫付近を運行しているまめバスを周知するためにルート図・時刻表の配布は検討しているか。

企画調整課長 前回の見直しの際に、会社には相談したことがあったが、倉庫で働く方は車通勤の方が多いため、今後確認した上で配布について検討していく。

議題（２） まめバスの利用促進策について（報告）

寺部会長 「まめバスの利用促進策について」事務局に報告をお願いします。

<事務局報告>

- ・資料③1ページのまめバスの利用促進策について、まめバスの新たな運行開始後は、10月19日に開催される産業祭の会場において、まめバスの乗車体験や高齢者等にバスロケーションシステムの使い方を教えるなどのイベントを開催し、幅広い年代の利用につなげていきたいと考えていること。
- ・2ページから5ページまでは、バスロケーションシステムの操作方法を説明したもので、パソコンやスマートフォンでリアルタイムの運行状況、ルートや時刻表を確認することができ、便利であることを、実演指導を交えながら周知していくこと。
- ・6ページについては、まめバスを知らない人などに広く案内するためのチラシとして配布すること。

【質問】

大塚委員 令和6年第3回野田市議会定例会の市政一般報告で7月9日にまめバス乗車体験等の出前授業の実施を予定しているとあったが、どのようなことを実施したのか。

事務局 関宿中央小学校、東部小学校、福田第二小学校において、座学でバスの乗り方等を学んだ後に、実際に乗車体験や車いす利用者の乗車方法を体験してもらった。生徒たちからは車いすの方が乗りやすいように意識していきたい、まめバスに乗ってみたい等の感想があった。

大塚委員 来年度以降も是非モビリティマネジメント教育を実施してほしい。

議題（3） 交通不便地域対策について（報告）

寺部会長 「交通不便地域対策について」事務局に報告をお願いします。

<事務局報告>

- ・資料④の交通不便地域対策については、タクシー事業者の深刻な運転士不足の影響等によりデマンド交通の早期導入が難しい状況にあることから、運行費用面で大きな負担がなく、運行開始までに時間を要しない代替交通として、デイサービス送迎車両を空き時間に活用した運行や、病院送迎バスの定期ルートに合わせた混乗による運行について調整を進めていること。
- ・「デイサービス送迎車両」については、社会福祉法人野田みどり会が社会貢献事業として自ら実施することになり、日常の買物に不便を感じている法人施設のデイサービスセンター利用者等を支援するため、令和6年6月から運行を開始したこと。
- ・運行内容は、週2回、1日1便、決められた目的地を運行していること。
- ・利用状況については、2名のリピーターが主に利用しており、実際に商品を「見て・触って・選ぶ」楽しみを実感していること。
- ・福祉的視点から、介護職員である運転手は介助の必要性を感じてしまうようだが、事業者の好意による送迎事業であるため、介助することにより介護タクシー等の輸送サービスと競合しないように差別化を徹底する必要があることなどが、課題として挙げられること。
- ・今後の取組としては、デイサービスの送迎車両を活用した一つのモデル事業として、他の事業者においても運用できるよう働きかけていくが、飽くまでも運行に係る人員確保や運行費用等で大きな負担がない事業として、他の事業者においても社会貢献の一つとして取り組んでいただくことを基本に考えているため、定期的に野田みどり会と情報交換を行い、利用状況や課題などの情報を収集、分析した上で、まずは、各地域包括支援センターを運営している社会福祉法人に対して、野田みどり会の運行事例を紹介するとともに、利用状況や課題などの情報も提供しながら、個々の実情に合わせた運行方法等を協議していき、事業の拡大につなげていきたいと考えていること。
- ・「病院送迎バス」については、高齢者等の日常生活における移動の利便性向上を図るため、今年度中の運行開始に向けて、協力していただくキッコーマン総合病院、小張総合病院及び野田病院と運行方法や費用負担などについて協議を進めていること。
- ・課題については、他のルートとの混乱や危険な場所での乗降を避ける必要があること、事故等における損害賠償責任の所在を明確にする必要があること等が挙げられたため、それぞれの課題解決に向けて、利用要件や事故等の損害賠償など、病院で統一する事項について3病院と協議・決定し、病院ごとの運行方法について各病院と調整していること。

・調整後は、運行に係る協定を締結し、実施要領や利用案内パンフレットなどをまとめ、1月に市報及びホームページにより周知を行い、利用申請の受付を開始し、3月からの運行開始を予定していること。

【質問】

澤田委員 病院送迎バスについて、利用者が通常の送迎バスなのか、市の事業のバスなのか混乱する可能性があるが、表記の検討はしているか。

事務局 病院送迎バスについてはルート、乗降場所、時刻は既存の送迎バスと同じであり、決められた乗降場所で途中下車できる方法であるため、混乱の影響はないと考えているが、車両に既存のルートごとに色分けした表示をする予定である。詳細については今後各病院と協議していく。

寺部会長 通常の病院利用と変わらないということか。

事務局 そのとおり。

小林委員 途中下車はどのようにするのか。

事務局 運転手に降りる場所を伝えて下車する。

企画調整課長 病院送迎バスについては事前に申請が必要であり、申請者にはパスカードを交付する。利用者は毎回パスカードを提示することで乗車ができ、運転手もパスカードを確認すれば市の事業利用者だということがわかる。また、バスの車体に市の事業のバスであることがわかるマグネットのようなものを貼り付ける必要があると考えている。

小俣委員 みどり会が実施している事業について詳しく聞きたい。

企画調整課長 みどり会のデイサービスセンター利用者等を対象に、11時から13時頃までのデイサービス送迎車両の空き時間を活用し、買物支援を行っている。利用には事前の予約が必要となっている。

小俣委員 送迎車両を運転している職員は、送迎のみの業務なのか、それとも他にも業務をしているのか。

企画調整課長 職員の業務内容については詳しく把握はしていない。

小林委員 デイサービスセンター利用者等とあるが、「等」とは何か。

企画調整課長 1人で買物をするのが難しい利用者は介助者1名までの同乗を可としているため、介助者を指している。

小林委員 みどり会の事故等における損害賠償についての取扱いはどうなっているのか。

企画調整課長 みどり会の事業については、損害賠償も含め、費用は全てみどり会で負担することとなっている。

大塚委員 病院送迎バスの混乗運行により、まめバスと重複し収益悪化が懸念され、また、小張総合病院の近くは飲食店が多いため、健康な人が飲食店を利用するためだけに送迎バスを利用することが懸念されるがどう考えているか。

企画調整課長 病院送迎バスについては高齢者の移動や外出の支援として75歳以上の方に限定して実施を予定している。委員の懸念は理解できるが、送迎バス利用者の行き先までは把握できないため、病院送迎バスの趣旨に添って利用をしてもらいたいと考えている。

4 その他

小出委員 iPhoneだとGoogleとの相性が悪く、バスロケーションシステムのマップを開けないことがある。

事務局 事業者を確認させていただく。

大塚委員 令和6年第3回野田市議会定例会の市政一般報告で令和5年度のみめバス利用状況に

ついて、1便当たりの利用者数が4年度の7.1人から7.4人に増加しているとあるが、要因はどのように考えているか。

企画調整課長 平成31年の改正でそれぞれの生活圏域に合わせてルートを拡大し、利用者の増加を見込んでいたが、コロナウイルスの影響で利用者が減少してしまった。コロナが明けたことで徐々に利用が増えてきたのが要因と考える。ただし、生活様式の変化もあり、思うように利用が伸びていない。今回の改正では朝の通勤、通学の時間帯に配慮したダイヤを組んでいるため、利用が伸びることを期待している。

事務局 次回の審議会は、令和7年2月の開催を予定している。

5 閉会

寺部会長 令和6年度第3回野田市コミュニティバス等対策審議会を閉会する。